



梅雨の合間の平成15年7月4日、玖珂・周東地区において河川清掃が行われました。これは、県の推進している河川環境美化運動の一環として毎年実施されているもので、今年は玖珂・周東地域を流れる島田川の堤防を、延べ4キロにわたり除草作業が行われました。島田川は玖珂郡由宇町を源流とし、玖珂町、周東町、熊毛町を貫流して、周防灘に注ぐ河川です。

(株)石川組 吉見 征徳さん



いそう。見れば、辺り一面緑色の草むらが広がり、人も覆うような高さの草が鬱蒼と生い茂っています。あまりの草の量に、作業が始まってなかなかすっきりとしない様子で、作業される方々の額にはみるみるうちに汗が滲みまします。それでも、1時間、2時間と作業を続けるにつれ、堤防はだんだんと涼しげになり、ずいぶん見通しもよくなりました。

「この辺りは町民の有志の方が積極的に清掃作業をされるので、とても綺麗に保たれていますよ。今度の日曜日にも「町民一斉清掃」が行われる予定で、その時に町民

「今日は作業しやすい天気になってよかった。カンカン照りだと、気温の暑さと草刈機のエンジンの熱気で体がすぐにへばってしまいますから。」と石川組・代表取締役の吉見征徳さんはおっしゃいます。今回作業をする堤防は他地区と比べて草の生えている面積が広



暑い中での草刈り作業



草に隠れていたガードレールも

りと変わりました。刈り終わった草は3トントラックに4台分(およそ12トン)もの量。最近ではあまりないですが、以前はよく刈り取った草を農家の方が利用されていたそうです。



刈った草の処理

の方が刈りづらかったり、危険と思われる箇所を今回の作業で刈っておくんです。住んでいる人ひとりひとりが、自分の地域を綺麗にしようとする心がけが環境美化の一番の対策であり、その気持ち伝わるから私たちががんばらなくてはと思いますね。」と吉見さん。対岸には、桜など四季折々に趣のある風景が見られることで知られる「桜づつみ公園」があり、堤防も整備されています。「こちら側の岸も負けないくらいに綺麗にしますよ。」と笑顔でおっしゃっていました。

4時間以上に及ぶ作業が終わると、堤防は見違えるようにすっきり

「クリーンアップ作戦」で、地域をきれいに！

河川清掃活動〈玖珂・周東支部〉

市内17箇所での大規模訓練に、関係機関も市民も大注目!!

2003年総合防災訓練と美称

■初めての日曜開催に、たくさん地域住民と関係機関が参加！

万一大規模な地震・風水害の発生に備えようと、住民や地域団体と県・市町村の防災関係機関が一体となって毎年行っている大規模な「総合防災訓練」(主催/山口県防災会議・美称市防災会議)が、今年度は美称市を会場として8月31日に行われました。

■レスキュー隊の迫力たつぷりの訓練に、会場の熱い視線が集中！

今回の訓練は、「菊川断層の活動によりマグニチュード7・2の地震が発生し、美称市で震度6強を記録。電気・水道などのライフラインに甚大な被害が生じたほか、家屋・公共施設の倒壊、がけ崩れなどの被害が発生した」という想定のもと、行われました。

■県建設業協会美称支部、道路上の障害物の緊急除去に出動！



山口県建設業協会美称支部は、主会場となった美称工業団地での訓練に参加しました。道路に倒れて車両などの通行を妨げている木を除去して欲しいという本部からの要請を受けて現場に出動し、バックホーを使って倒木を道路から除去。続いて市建設課職員と協力してチェーンソーを使って倒木を断裁し、トラックに積み込んで迅速に除去するまでの訓練を行いました。



秋山建設(株) 角本 勲さん

今回の作業を担当したのは、秋山建設の角本勲さんです。「災害発生現場で一番気をつけなければ